

◎ 使い方のご相談など

弊社ホームページのお問い合わせページ、
または、ご購入の販売店にお問い合わせください。

インフォメーションディスプレイ
お問い合わせページ

<https://jp.sharp/business/lcd-display/support/>



◎ 目次

・はじめに	1	・操作編 (USBメモリー)	8
・安全にお使いいただくために	3	・操作編 (コンピューター接続)	9
・無線通信に関するご注意	4	・操作編 (ソフトウェア)	10
・準備編	6	・操作編 (画像表示モード)	14
・操作編 (電源)	7		

はじめに

1. 基本仕様

形名	EP-421	
表示部 *1	表示サイズ	42型 (4:3) (対角 107.1cm)
	最大解像度	2880 x 2160 ドット (アスペクト比 4:3)
	階調表示	モノクロ 16階調グレースケール
	画素ピッチ	水平 0.2975 mm x 垂直 0.2975 mm
	表示画面サイズ	横 856.8 mm x 縦 642.6 mm
入出力端子	USB	USB3.0 TypeA x 2 系統、USB typeC x 1 系統
	LAN 端子	10BASE-T/100BASE-TX (1 系統)
	無線 LAN	IEEE802.11 a/b/g/n/ac 準拠
出力端子	音声	φ 3.5mm ミニステレोजャック (1 系統)
防塵・防水性能	IEC 規格 IP65 相当 *2 *3	
電源	AC100V、50/60Hz (専用 AC アダプター使用時)、DC 20V	
使用温度条件	本体：0～50℃、AC アダプター：0～40℃	
使用湿度条件	0～80% (結露なきこと)	
外形寸法 (突起部を除く)	幅約 908.8mm x 奥行約 33.8mm x 高さ約 694.6mm	
質量	約 8kg	
梱包時寸法	幅約 1,020mm x 奥行約 222mm x 高さ約 820mm	
梱包時質量	約 13kg	

*1 パネルの仕様。パネル前面のガラスのマスク (白色) 部により周囲約 3 ドットが隠れます。コンテンツ制作の際はご注意ください。

*2 国際規格で定められる防塵性能が 6 級、防水性能が 5 級相当であることを示します。粉塵の内部侵入を防ぎ、噴流水がかかっても有害な影響を受けない性能を有しています。防塵・防水性能は、本機が故障しないことを保証するものではありません。性能より小さい粉塵や高圧の水、水以外の液体などは、侵入する場合があります。また環境の変化などにより、内部に結露が発生する場合があります。

*3 AC アダプターに防塵・防水性能はありません。

・画像を表示するための消費電力は必要としませんが、システム待機時には約 1W、パネル書換時には最大約 40W の消費電力が必要となります。

2. 表示できるファイル形式

● 表示できるファイル形式は以下の通りです。

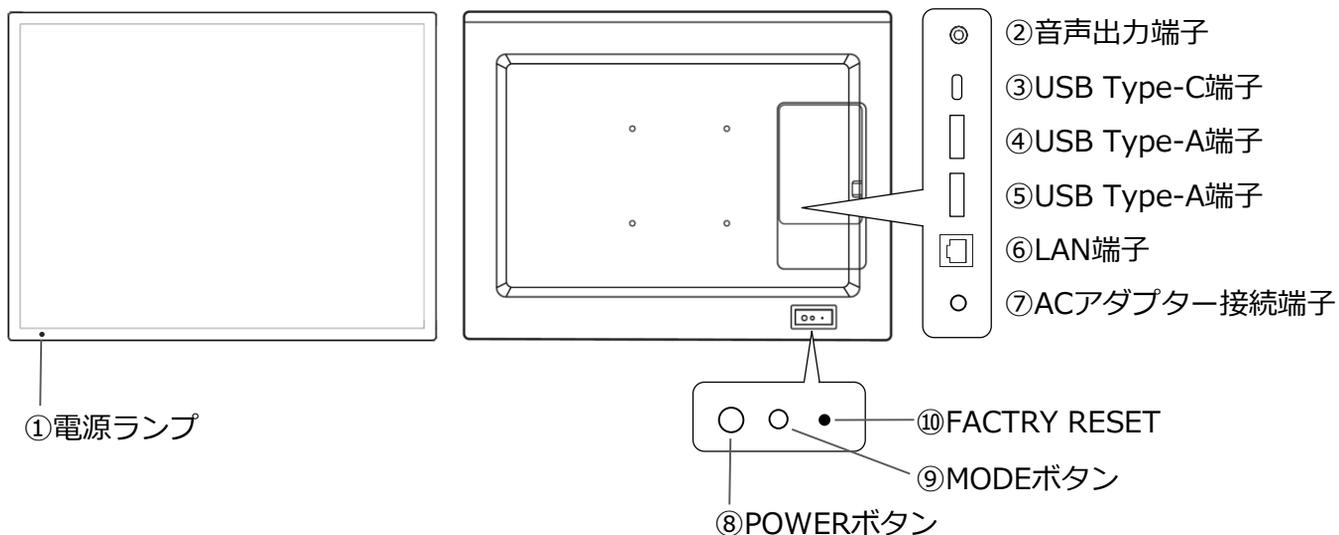
表示可能コンテンツ：静止画 (.jpeg/.jpg/.bmp/.png)、PDF (.pdf※)

最大解像度：2,880 x 2,160 または 2,160 x 2,880

※ PDF (.pdf) は「ePoster 設定ツール for EP 421」を使用して、静止画(.png)に変換して表示します。

△ 上記ファイル形式以外でも、表示される場合がありますが、画像は2,880 x 2,160 または 2,160 x 2,880の画面に準拠した形式に自動的に変換されるため、画像が乱れる場合があります。

3. 各部の名前



①電源ランプ

P.7をご覧ください。

②音声出力端子

本機のビーブ音を出力します。音声ファイルの再生はできません。

③USB Type-C端子

市販のUSBケーブルでコンピューターと接続して表示画像を書き換えます。

④⑤USB Type-A端子

市販のUSBメモリーを接続して表示画像を書き換えます。

⑥LAN端子

別売の配信ソフトウェアe-Signage S を使用して表示画像を書き換えます。

⑦ACアダプター接続端子

付属のACアダプターを接続します。

⑧POWERボタン

電源を入/切することができます。

⑨MODEボタン

手動モードと自動モードの切り換え、手動モード時の画面送りができます。

⑩FACTRY RESET

工場出荷時の設定に戻すことができます。

安全にお使いいただくために

図記号の意味 (図記号の一例です。)



記号は、**気をつける**必要があることを表しています。



記号は、**してはいけない**ことを表しています。



記号は、**しなければならない**ことを表しています。



警告 この表示を無視して誤った取り扱いをすると、人が死亡または重傷を負うおそれがある内容を示しています。



電源コードを傷つけない。引っ張らない。無理に曲げない。本機や重いものの下敷きにしない。加熱しない。加工しない。また、熱器具に近づけない。
電源コードを傷め、火災や感電の原因となります。



電源は、AC 100V (50/60Hz) のコンセントを使用する。指定以外の電源を使用すると、火災や感電の原因となります。



雷が鳴り始めたら、本機の電源を切り、電源プラグをコンセントから抜く。
火災や感電の原因となります。



発熱したり、煙が出たり、変なおいがするなどの異常が起きたら、すぐに本機の電源を切り、電源プラグをコンセントから抜く。
異常な状態で使用を続けると、火災や感電の原因となります。お買いあげの販売店またはお客様ご相談窓口にご連絡ください。



機器を落としたり、キャビネットを破損したときは、本機の電源を切り、電源プラグをコンセントから抜く。
そのまま使用すると火災や感電の原因となります。お買いあげの販売店またはお客様ご相談窓口にご連絡ください。



電源プラグの刃や刃の付近に、ほこりや金属物が付着しているときは、電源プラグを抜いて乾いた布で取り除く。
そのまま使用すると火災や感電の原因となります。



内部に水や異物が入ったときは、本機の電源を切り、電源プラグをコンセントから抜く。
そのまま使用すると火災や感電の原因となります。お買いあげの販売店またはお客様ご相談窓口にご連絡ください。



風通しの悪い場所、ほこりや湿気が多い場所、油煙や湯気の当たる場所で使用しない。
腐食性ガス(二酸化硫黄、硫化水素、二酸化窒素、塩素、アンモニア、オゾンなど)の存在する環境で使用しない。
火災の原因となります。



クリップやピンなどの異物を機械の中に入れない。
火災や感電の原因となります。



本機の裏ふたを外さない。
改造しない。
内部には電圧の高い部分があるため、触ると感電の原因となります。内部の点検、修理はお買いあげの販売店またはお客様ご相談窓口にご相談ください。



ぬれた手で電源プラグを抜き差ししない。
感電の原因となります。



アースを接続する。
アースが接続されないで万一、漏電した場合は火災や感電のおそれがあります。
本機の電源プラグはアース付き3ピンプラグです。
アースが接続できない場合は、専門の工事業者にご相談ください。



航空機、原子力設備、生命維持にかかわる医療機器などの高度な信頼性を必要とする設備への組み込みや制御などを目的とした使用はできません。



注意 この表示を無視して誤った取り扱いをすると、人がけがをしたり財産に損害を受けるおそれがある内容を示しています。



AC アダプターおよび電源コードは、必ず付属のものを使用する。
付属以外のものを使用すると、火災の原因となることがあります。



AC アダプターの取り扱いにあたっては、次のことを守る。取り扱いを誤ると、火災や感電、けがの原因となることがあります。

- ・落下させたり、衝撃を与えないでください。
- ・絶対に分解しないでください。内部には高圧部分があり、触ると危険です。
- ・AC アダプターは屋内専用です。屋外では使用しないでください。
- ・付属の AC アダプターは他の機器に使用しないでください。



本機近くのコンセントを使用する。
電源プラグの抜き差ししやすい場所のコンセントを使用する。



電源コードは、タコ足配線しない。
タコ足配線をする、過熱により火災の原因となることがあります。



電源プラグはコンセントに根元まで確実に差し込む。
差し込みが不完全だと発熱したり、ほこりが付着して火災の原因となります。また、電源プラグの刃に触れると感電の原因となります。



火災や感電を防ぐために、次のことを守る。
・電源プラグを抜くときは、必ずプラグを持って抜いてください。
・お手入れのときや、夜間、休業日などで長時間使用しないときは、電源プラグをコンセントから抜いてください。
・電源プラグや電源コードが熱いとき、またコンセントへの差し込みがゆるく電源プラグがぐらついているときは、使用をやめてお買いあげの販売店またはお客様ご相談窓口にご相談ください。



直射日光の当たる場所や暖房器具の近くなど、高温になる場所で使用しない。
発熱や発火の原因となることがあります。



ぐらつく台の上や、不安定な場所に置かない。強い衝撃や振動を与えない。
落ちたり、倒れたりしてけがの原因となることがあります。



うつ伏せ、逆さまにして使用しない。
熱がこもり、発熱や発火・故障の原因となることがあります。



上にものを置いたり、上に乗ったりしない。
倒れたり、落下したりしてけがの原因となることがあります。



風通しの悪いところに置いたり、じゅうたんや布団の上に置いたり、布などをかけたりしない。
通風を妨げると内部に熱がこもり、故障や発熱、発火の原因となることがあります。



画面を強く押ししたり、衝撃を与えたりしない。
画面に力が加わると、破損や故障、けがの原因となることがあります。



画面を先のとがった物で押さない。
破損や故障、けがの原因となることがあります。



硬いものでこすったり、たたいたりしない。
破損してけがの原因となることがあります。



移動するときは、電源プラグをコンセントから抜き、AC アダプターや接続されているケーブルを外す。
コードやケーブルが引っ掛かり、落ちたり、倒れたりしてけがの原因となることがあります。
AC アダプターや電源コードが傷つき火災や感電の原因となることがあります。



本機や AC アダプターの温度が高くなる部分に長時間触れない。
低温やけどの原因となることがあります。

無線通信に関するご注意

電子ペーパーディスプレイは 2.4GHz 帯または 5GHz 帯の無線通信を行っています。

電波法に基づく適合証明について

- ・電子ペーパーディスプレイには、電波法に基づく小電力データ通信システムの無線局として、工事設計認証を受けた無線設備を内蔵しています。電子ペーパーディスプレイを使用するときに無線局の免許は必要ありません。また、日本国内のみ使用できます。
- ・電子ペーパーディスプレイは、工事設計認証を受けていますので、分解 / 改造をすると法律で罰せられることがあります。

① ② ③



- ① 「2.4」使用する周波数帯域を表します。(2.4GHz 帯)
- ② 「DS/OF」変調方式を表します。(DS-SS 方式 / OFDM 方式)
- ③ 「4」想定される与干渉距離が40m 以下であることを示しています。
- ④ 「■■■■」2.4GHz ~ 2.4835GHz 帯の全帯域を使用し、かつ移動体識別装置の帯域を回避可能であることを表します。

IEEE802.11b/g/n

IEEE802.11a/n/ac

~~W52~~ W52 W53 W56

- ・W52(5.2GHz 帯 36,40,44,48ch),W53(5.3GHz 帯 52,56,60,64ch),W56(5.6GHz 帯100,104,108,112,116,120,124,128,132,136,140ch)が利用できます。
- ・5.2GHz/5.3GHz(W52/W53)は電波法により屋外での使用が禁止されております。

製品および付属品の不正な改造、指定以外の代替品等は使用しないでください。製品および付属品の不正な改造、指定以外の代替品等の使用により発生した故障や不具合については、当社は一切その責任を負いませんので、あらかじめご了承ください。

電子ペーパーディスプレイは、ご購入の国または地域外では使えません。無線 LAN で使用できるチャンネル・周波数は国や地域により異なります。

電波干渉に関するご注意

- ・本機の使用周波数帯では、電子レンジ等の産業・化学・医療用機器のほか工場の製造ライン等で使用されている移動体識別用の構内無線局（免許を要する無線局）及び特定小電力無線局（免許を要しない無線局）並びにアマチュア無線局（免許を要する無線局）が運用されています。
- 1.本機を使用する前に、近くで移動体識別用の構内無線局及び特定小電力無線局並びにアマチュア無線局が運用されていないことを確認してください。
 - 2.万一、本機から移動体識別用の構内無線局に対して有害な電波干渉の事例が発生した場合には、速やかに電波の発射を停止したうえ、ご購入の販売店にご連絡いただき、混乱回避のための処置等（例えば、パーティションの設置など）についてご相談してください。
 - 3.その他、本機から移動体識別用の特定小電力無線局あるいはアマチュア無線局に対して有害な電波干渉の事例が発生した場合など何かお困りのことが起きたときは、ご購入の販売店へお問い合わせください。

無線通信に関するご注意

無線LAN製品ご使用時におけるセキュリティに関するご注意

無線LANでは、LAN ケーブルを使用する代わりに、電波を利用してパソコン等と無線LANアクセスポイント間で情報のやり取りを行うため、電波の届く範囲であれば自由にLAN接続が可能であるという利点があります。その反面、電波はある範囲内であれば障害物（壁等）を越えてすべての場所に届くため、セキュリティに関する設定を行っていない場合、以下のような問題が発生する可能性があります。

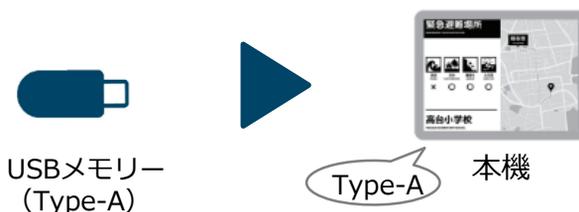
- 通信内容を盗み見られる
悪意ある第三者が、電波を故意に傍受し、
 - IDやパスワード又はクレジットカード番号等の個人情報
 - メールの内容等の通信内容を盗み見られる可能性があります。
- 不正に侵入される
悪意ある第三者が、無断で個人や会社内のネットワークへアクセスし、
 - 個人情報や機密情報を取り出す（情報漏洩）
 - 特定の人物になりすまして通信し、不正な情報を流す（なりすまし）
 - 傍受した通信内容を書き換えて発信する（改ざん）
 - コンピュータウイルスなどを流しデータやシステムを破壊する（破壊）などの行為をされてしまう可能性があります。

本来、無線LAN製品は、セキュリティに関する仕組みを持っていますので、その設定を行って製品を使用することで、上記問題が発生する可能性は少なくなります。
セキュリティの設定を行わないで使用した場合の問題を十分理解した上で、お客様自身の判断と責任においてセキュリティに関する設定を行い、製品を使用することをお奨めします。

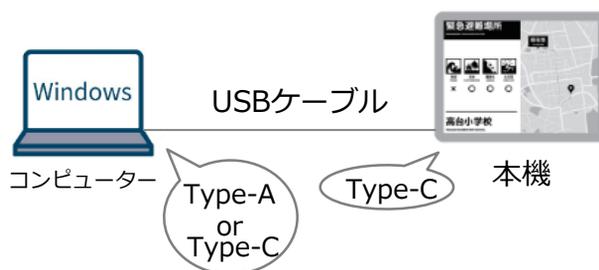
1. 必要なハードウェア

本機の表示の書き換え方法

【USBメモリーを使用して変更する】

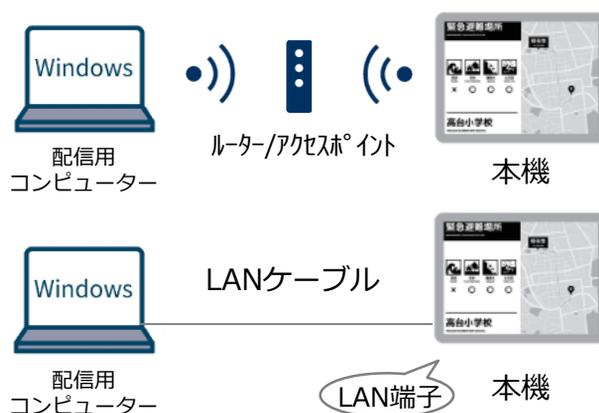


【コンピューターを接続して変更する】



【ネットワーク経由で変更する】

- ・別売の配信ソフトウェア e-Signage S が必要となる接続方法です。
- ・操作方法については、e-Signage S の操作ガイドをご覧ください。



2. 必要なソフトウェア

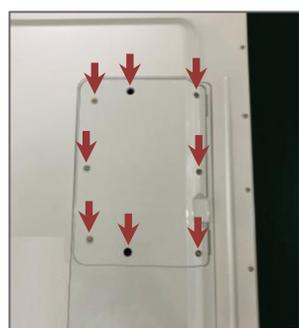
P.10をご覧ください。

3. インターフェースカバーについて

- ①本機にケーブルを接続する際は、背面のインターフェースカバーを外してください。
- ②下記箇所のネジを8個外します。

⚠ ケーブル取り付け後は、必ずインターフェースカバーを再度取り付けてください。
インターフェースカバーを取り付けない場合、防塵・防水性能IP65は満たされません。

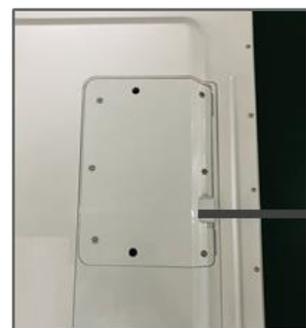
本機背面／インターフェースカバー
取付ネジ箇所



インターフェースカバーの
取外し



インターフェースカバー
再度取付



1. 電源の入れかた

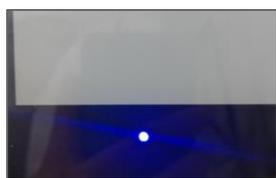
- ①電源コード (付属) をACアダプター接続端子に差し込みます。
- ②電源コード (付属) のプラグをコンセントに差し込みます。
- ③本機が起動します。

起動中は、本機の電源ランプが緑色で点滅します。
 起動完了すると青色の点灯になります。

なお、30秒経過すると省電力化のため省電力モード設定の有効・無効に関わらず、システムの省電力化のためスリープ状態に入り、電源ランプが消灯します。POWERボタンもしくは、MODEボタンを押すと起動します。自動モード時には画像切替時に自動で起動します。



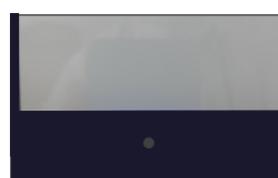
起動中：緑色の点滅



起動完了：青色の点灯



← 30秒 →



スリープモード：消灯



ご参考

- 電源ランプの動作について

ステータス	電源ランプの状態
主電源「OFF」、スリープモード	消灯
起動中	緑点滅
自動モード (スライドショー)	緑点灯
自動モード (スライドショー一時停止中)	青、緑交互点滅 (1秒周期)
手動モード、e-Signage S 実行中	青点灯
環境温度エラー表示	オレンジ、青交互点滅 (1秒周期)

- MODEボタンについて (詳しくはP.14をご覧ください。)
 長押しで手動モードと自動モードの切り換え、短押しで手動モード時の画面送りができます。
 自動モード中、MODEボタンを短押しするとスライドショーが一時停止します。
 再度短押しすると再開します。

※ 工場出荷時、電源を入れた時は手動モードで起動します。

※ 自動モードに設定した場合、電源を入れた時は自動モードで起動します。

⚠ 本機の周囲温度が使用温度 (0~50℃) の範囲外の場合、画面の書き換えができない場合があります。その際、電源ランプがオレンジ、青交互点滅となります。使用温度の範囲内になる環境で、再度画面の書き換えを実施してください。

2. 電源の切りかた

- ①本機のPOWERボタンを3秒間長押しします。
 電源ランプが消灯します。

3. 電源の再起動

- ②電源コード (付属) 接続時に再度、電源を入れる場合、
 本機のPOWERボタンを1~2秒間押しします。



POWERボタン

⚠ 電源コード (付属) のプラグを抜く場合は、1分以上経過してから差し込んでください。

⚠ 10秒以上POWERボタンを長押しすると、再起動します。

USBメモリーを使用して変更する

1. コンピューターにUSBメモリーを接続する。
2. 「ePoster 設定ツール for EP-421」 (図1) を起動する。
3. 「スライド設定」をクリックする。
4. 設定を読み込む。
※初めての場合、この操作は不要です。
 - ① 各設定画面で「読み込み」をクリックする。
 - ② 「USBメモリー」を選び、「OK」をクリックする。USBメモリーに保存されている本機の設定が読み込まれます。
5. 設定を変更する。(P.12)
6. 設定の変更が終わったら、「書き出し」をクリックする。
7. 「USBメモリー」を選び、「OK」をクリックする。(図2) 変更がUSBメモリーに反映されます。
USBメモリーへの書き込みが完了したことを確認する。(図3)
8. 「」をクリックし、「ePoster 設定ツール for EP-421」を終了する。
9. コンピューターからUSBメモリーを取り外す。
10. 本機の電源を接続する。
11. **電源ランプが点灯していることを確認する。**
消灯している場合：POWERボタンもしくは、MODEボタンを押して起動する。
12. 本機のUSB Type-A端子にUSBメモリーを接続する。
13. USBメモリーに保存した画像が本機にコピーされ、コピー中は図4のメッセージ画面が表示される。
14. コピーが完了すると図5のメッセージ画面が表示される。
15. USBメモリーに保存した画像が本機に反映される。
16. 反映が終わったら、USBメモリーを取り外す。



図1



図2



図3

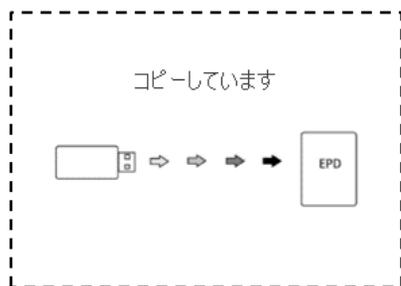


図4



図5

- ⚠ 画像が表示されるまで時間が掛かる場合があります。
- ⚠ 低温時は書き換え時間が長くなりますのでご注意ください。
- ⚠ 本機に保存済みのデータと同じデータはコピーされません。(図4、5は表示されません)

コンピューターを接続して変更する

1. 本機の電源を接続する。
2. **電源ランプが点灯していることを確認する。**
消灯している場合：POWERボタンもしくは、MODEボタンを押して起動する。
3. 本機のUSB Type-C端子とコンピューターのUSB端子(Type-AまたはType-C)を市販のUSBケーブルで接続する。
4. 「ePoster 設定ツール for EP-421」(図1)を起動する。
5. 「スライド設定」をクリックする。
6. 設定を読み込む。
 - ①各設定画面で「読み込み」をクリックする。
 - ②「ePoster 端末」を選び、「OK」をクリックする。(図2)
本機の設定が読み込まれます。
7. 設定を変更する。(P.12)
8. 設定の変更が終わったら、「書き出し」をクリックする。
「ePoster 端末」を選び、「OK」をクリックする。
本機への書き込みが完了したことを確認する。(図3)
9. 本機のPOWERボタンを3秒押し電源を切り、再度、POWERボタンを押す。(図4)
本機が再起動すると、変更した画像が本機に反映されます。
10. 「×」をクリックし、「ePoster 設定ツール for EP-421」を終了する。
11. 反映が終わったら、本機からUSBケーブルを取り外す。



図1



図2



図3



図4

ご参考

本機とコンピューターをUSBケーブルで接続中はスリープモードには入りません。

⚠ 画像が表示されるまで時間が掛かる場合があります。

⚠ 低温時は書き換え時間が長くなりますのでご注意ください。

本ソフトウェアについて

- ソフトウェア名：ePoster 設定ツール for EP-421
- ダウンロード先：ご購入の販売店、営業担当にお問い合わせください。
- アイコン：



⚠ USBメモリーおよびコンピューターを接続して表示を変更する場合に必要となります。

- コンピューターと本機を市販のUSBケーブルで接続し、表示を変更することができます。
- 市販のUSBメモリーに表示を保存することができます。
また、保存したUSBメモリーを本機に接続して、表示を反映することができます。
- 表示の内容は、任意の場所にファイルとして保存することができます。
保存した設定ファイルの内容は、ePoster設定ツール上に読み出し再利用することができます。



ご参考

- ・インストールは不要です。
- ・本ソフトウェアが不要となった場合は、ダウンロードしたexeファイルと解凍したフォルダーを削除してください。

ご注意

- USBメモリーは下記のものをご利用ください。
端子：Type-A、ファイルシステム：FAT32
容量：32GBまで（最大ファイルサイズは4GB）
- 本ソフトウェアを本機とUSBケーブルで接続して使用する場合は、本機の電源を接続する必要があります。書き出し後、本機とのUSBケーブル接続を解除し、本機を再起動すると、変更後の画像が表示されます。
- 自動画面切替機能は、本機の電源が接続されている場合にのみ使用できます。
- データ転送中または画像書き換え中は、電源コードやUSBケーブル、USBメモリーを抜かないでください。
- コンピューターに接続する本機/USBメモリー※は、いずれか1台にしてください。本機とUSBメモリーを同時使用することはできません。また、複数の本機/USBメモリーを使用することもできません。
- セキュリティ機能や書き込み保護機能つきUSBメモリーは使用しないでください。
※SDカードも含まれます。

お願い

- 本ソフトウェアは厳重な品質管理と製品検査を経て出荷しておりますが、万一故障または不具合がありましたら、ご購入の販売店までご連絡ください。
- お客様もしくは第三者が本ソフトウェアの使用を誤ったことにより生じた故障、不具合、またはそれらに基づく損害については、法令上の責任が認められる場合を除き、当社は一切その責任を負いませんので、あらかじめご了承ください。
- 本取扱説明書および本ソフトウェアの内容の全部および一部を、当社に無断で転記、あるいは複製することはお断りします。
- 本取扱説明書および本ソフトウェアは、改良のため予告なく変更することがあります。
- 画面や操作手順は、一例です。画面の設定、OSのバージョンなどによって内容が異なる場合があります。また、画面は説明用です。
- Windows の基本的な操作は説明していません。

商標について

- Windowsは、マイクロソフト グループの企業の商標です。
- そのほか、本書に記載されている会社名や商品名は、各社の商標または登録商標です。

動作条件

ハードウェア	USB Type-A端子（2.0準拠）を有すること
OS	Windows 10、Windows 11

正常に動作が行われない場合

- ① 本機とPCを接続します。
- ② コンピューター画面上に本機のストレージフォルダー（EP-421）が表示されます。
- ③ EP-421フォルダーの/Pictures/Slideshow/から全てのフォルダを削除してください。



コンピューター画面

(1) スライド設定

画像リスト

ディスプレイで表示する画像と順番を指定します。
画像追加 表示する画像を画像リストに追加します。
▲ / ▼ 画像の順番を変更します。
画像削除 画像リストから画像を削除します。

プレビュー

画像リストで選択した画像が表示されます。
プルダウンメニューから表示するディスプレイと設置方向を選んでください。

画像回転方向

画像の回転方向を指定します。

自動画面切替

オンのとき、オートモードで使用します。「画面切替間隔」で設定された間隔で、自動的に次の画像を表示します。
オフのとき、マニュアルモードで使用します。ディスプレイの MODE ボタンを押すと、次の画像を表示します。

画面切替間隔

画像の変更間隔を指定します。
変更間隔には、表示変更時間も含まれます。画像が表示されている時間は約 30 秒短くなります。

省電力モード

オンにすると、画像の表示が終わると省電力状態に移行します。
マニュアルモードのときは、画像の表示が終わると省電力状態に移行します。
オートモードのときは、画面切替間隔の設定に合わせて、省電力状態への移行と復帰を自動で行います。

読み込み

本ソフトウェアに設定を読み込みます。
USB メモリー USB メモリーに保存された設定を読み込みます。
ePoster 端末 USB ケーブルで接続されたディスプレイの設定を読み込みます。
フォルダー指定 任意の場所に保存した設定ファイルを読み込みます。

書き出し

本ソフトウェアの設定を書き出します。
USB メモリー 設定を USB メモリーに保存します。
USB メモリーをディスプレイに接続すると、設定がディスプレイに反映されます。
ePoster 端末 USB ケーブルで接続されたディスプレイに設定を反映します。
フォルダー指定 任意の場所に設定を保存します。

リセット

「スライド設定」の設定を初期値に戻します。

ご参考

<画面切替間隔の設定例>

■ 1分～5分の画面切替の場合

自動画面切替	<input checked="" type="checkbox"/>
省電力モード	<input type="checkbox"/>
画面切替間隔	0 時間 5 分

■ 6分～24時間の画面切替の場合

自動画面切替	<input checked="" type="checkbox"/>
省電力モード	<input checked="" type="checkbox"/>
スリープ間隔	0 時間 6 分

画面切替間隔は1分～5分で設定可能です。それ以上で運用する場合は、**省電力モードをオンにし**、スリープ間隔を入力してください。

※省電力モード：

次の画像に切り替わるまでの状態をスリープモードにして省エネを実現する機能です。

(2) 設定ツール管理

アプリケーション管理

スタートアップ画面の表示

スタートアップ画面を表示するかどうか設定します。

バージョン情報

本ソフトウェアのバージョンを表示します。

画像表示モードについて

- ・本機の画面に画像を表示するモードは2種類あります。
 - ・MODEボタンを3秒以上長押しで切り換えることができます。
- ①手動モード（電源ランプ青点灯）：表示する画像をボタン操作で選んで表示する
 - ②自動モード（電源ランプ緑点灯）：表示する画像をスライドショー形式で自動表示する

⚠ 工場出荷時、最初に電源を入れた時は手動モードで起動します。

手動モードでの表示

- ①電源ランプ青点灯の手動モードであることを確認します。
- ②画面に画像が表示されます。
- ③MODEボタンを押して本機に保存された画像ファイルを切り換え表示ができます。

自動モードでの表示

- ①電源ランプ緑点灯の自動モードであることを確認します。
- ②保存された画像ファイルがスライドショーで自動再生します。
- ③一時停止する場合は、MODEボタンを押します。電源ランプは青と緑の交互点滅となります。
- ④再度、MODEボタンを押すとスライドショーが再開します。電源ランプは緑点灯になります。

ご参考

- 電源ランプの動作について

ステータス	電源ランプの状態
主電源「OFF」、スリープモード	消灯
起動中	緑点滅
自動モード（スライドショー）	緑点灯
自動モード（スライドショー一時停止中）	青、緑交互点滅（1秒周期）
手動モード、e-Signage S 実行中	青点灯
環境温度エラー表示	オレンジ、青交互点滅（1秒周期）